



2014年11月27日

各 位

会 社 名	キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 山下 正弘 (コード番号 4569 東証第1部)
問 合 せ 先	コーポレートコミュニケーション統轄部長 宮木 修次
電 話 番 号	03-3525-4707

### アレルギー性疾患治療薬「デスロラタジン」共同販売契約を締結

キョーリン製薬ホールディングス株式会社の子会社である杏林製薬株式会社（本社：東京都千代田区、社長：宮下三朝、以下杏林製薬）と MSD 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：トニー・アルバレス、以下 MSD）の関連会社は、MSD が第 3 相臨床試験を実施中のアレルギー性疾患治療薬「デスロラタジン（一般名）」の日本国内における共同販売に関する契約を締結しました。

この契約により、MSD による「デスロラタジン」の承認申請および承認取得後に、MSD と杏林製薬は同剤の共同販売を行います。杏林製薬は日本における共同販売権を取得し、それに伴う契約金等およびマイルストーンペイメントを支払います。

「デスロラタジン」は、新規有効成分の第二世代ヒスタミン H1 受容体拮抗薬です。国内では「アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒」の適応症で開発中ですが、海外では米国や欧州などで多くの処方実績があります。

MSD は、革新的な医薬品の開発・提供を通じて、日本の患者さんの QOL 向上に取り組んでいます。今回の契約締結は、同社の呼吸器・アレルギー領域におけるこうした取り組み強化の一環です。

杏林製薬は、本契約の締結によって重点領域である呼吸器・耳鼻科領域での製品ラインナップを拡充させ、さらには同領域でのプレゼンスの向上を図ります。

なお、今回の契約締結による 2015 年 3 月期の連結業績予測に与える影響は軽微です。

以 上